



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 5月28日

豊田市長 殿

提出者

住 所 愛知県豊田市小田木町大水別8番地
氏 名 株式会社 安藤
代表取締役 安藤和央
電話番号 0565-82-2505

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 安藤
事業場の所在地	愛知県豊田市小田木町大水別8番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高:36181
③従業員数	45人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 再生委託業者に委託→再生砕石として再資源化 廃ﾌﾗｸﾞ類 " →原料・燃料・建設材料として再資源化・埋立 混合 " →原料・燃料・建設材料として再資源化・埋立 建設汚泥 " →原料・燃料として再資源化 木くず " →原料・燃料・土壌改良材として再資源化 金属くず " →原料として再資源化 低濃度PCB汚染物 " →原料として再資源化・埋立

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

処理計画統括責任者

— 工事課主任（産業廃棄物管理責任者）

— 総務課（処理計画作成）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	混合物
排出量	2812 t	5 t	3 t
産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	金属
排出量	21 t	146 t	3 t
産業廃棄物の種類	低濃度PCB汚染物		
排出量	0.1 t		

（これまでに実施した取組）
特になし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	混合物
排出量	1512 t	5 t	7 t
産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	金属
排出量	4 t	20 t	2 t
産業廃棄物の種類	燃え殻		
排出量	0.3 t		

（今後実施する予定の取組）
産業廃棄物の減量を目指し、工法の工夫・改善に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、廃プラスチック類、金属くず、木くず
上記の内容について、分別を適切に行う。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別を適切に行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
①計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
①計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
①計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合物	汚泥	木くず	金属	PCB汚染物
	全処理委託量	2812 t	5 t	3 t	21 t	146 t	3 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量							
	再生利用業者への 処理委託量	2812 t	5 t	3 t	21 t	146 t	3 t	0.1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量							
	(これまでに実施した取組)							
	分別を適切に行う。							

